

# 保育室だより

10月7日

記入者名 N

欠席者名	なし		
出席者数	18名	保育者名	4名

時間	子どもたちのようす
10:00	<p>今日は全員出席で、とてもにぎやかに始まった。</p> <p>マコトちゃんは、さっそくおにぎりを出して食べる。手についたご飯粒を保育者にとってもらうが、しばらく手を気にしている様子。トイレの水道で手を洗うと、やっと安心して遊び始める。</p> <p>近くでセナちゃんもおにぎりを持ってみんなのことを眺めている。しばらくめめそしていたが、そのうち落ち着いておにぎりをゆっくり食べ始める。時間をかけて、しっかりと食べている。</p> <p>ナナちゃんは、保育者に「今日は何して遊ぶ?」と声をかけられると、恥ずかしそうにしている。しばらくすると、おままごとを始めた。</p> <p>フトシちゃんは、大積み木が積んであるところに登り、一人で歌いながら踊る。そのうち気分が盛り上がったのか、元気に遊び始める。</p> <p>ヒトシちゃんは、ミニカーやおままごとで遊んでいたが、保育者に窓を指さして「ウーカンカンカン」としきりに言う。保育者に窓の外の消防署の辺りを見せてもらうと、満足してまた遊び始める。</p> <p>タツロウちゃんは「ママが帰ってくるまで待ってる」と言い、目に涙をためているが、泣かないで頑張っている。半円の大積み木を道に見立ててつなげる遊びを始めると元気になる。</p> <p>その近くにいたコウタちゃんに、保育者が大積み木を渡して「タツロウちゃんを手伝って」と声をかけると、コウタちゃんは少し考えてからタツロウちゃんと一緒に大積み木を並べる。ケイトちゃんも見ていて、二人を真似て大積み木を運んでくる。</p> <p>長くつながった大積み木の上をタツロウちゃんは上手に歩いて渡る。ケイトちゃんは手で大積み木をたたいて、嬉しそうに声を出している。コウタちゃんは大積み木の上に登ろうか迷い、ちょっとだけ足を乗せたが、やめて見ていた。</p> <p>フミトちゃんとユズトちゃんは電車のおもちゃを二つずつ持って遊んでいる。時々、フミトちゃんがユズトちゃんの持っているトーマスを取り上げようとするが、ユズトちゃんは絶対に渡さないでいた。</p>

セナちゃんがおにぎりを食べている周りに、セイちゃん、リンちゃん、ユマちゃん、ジンちゃん、アサちゃんも集まってきて、みんなでおにぎりを食べ始める。アサちゃんはおにぎりを食べながら「オ・ウ・タ・サ・ン（大田さん）」と何度もはっきり言っている。保育者が「大田さんは今日はお休みなのよ」と教えると、今度は「オウタサン、オヤスミ」と大きな声で繰り返していた。

少し遅れてキョウセイちゃんも、おにぎりを食べている輪の中に入る。保育者に手伝ってもらい、一生懸命おにぎりとお茶を取り出すが、ふたを開けたとたんに、「ダメダメ、ママ、ママ」と言って、ふたを閉めて片づけていた。それでもお腹は減っているようで、しきりと他の子のおにぎりに手をのばしては拒否され、お友達のお弁当箱のふたをかじりながら、うなっていた。

トモちゃんは保育者のひざに座って、みんながおにぎりを食べている様子を眺めていた。

11 : 00

カナちゃんはおままごとで遊んでいる。アサちゃんのところに持っていくが、アサちゃんはよくわからないのか、うまく遊びにならなかった。次にキョウセイちゃんに渡すと、受け取って食べるマネをしてくれたので、嬉しそうだった。

ナナちゃんはトイレが気に入っているようで、鏡を見たり水を出して遊んだりしている。ユズトちゃんがやってきてしばらく見ていたが、開いていた扉を閉めると、ナナちゃんはあわててトイレから出てきた。

ユマちゃんとフトシちゃんは靴の棚のところで、靴を出したりしまったりしている。時々、靴が入っている棚に片足を入れて、靴を履いてみている。

コウタちゃんは、着替え用の半ズボンを手を持って振り回しながら、部屋中を歩いている。

セナちゃん、セイちゃん、ケイトちゃん、タツロウちゃんが、Bブロックを長くつなげる遊びを始める。セイちゃんはタイヤもはめて、電車のように走らせている。タツロウちゃんは、自分の鼻の高さまでつなげることができて得意そうだった。セナちゃんは、ピンクと赤のBブロックを交互につないでいる。キョウセイちゃんがやってきて、箱に入っているBブロックをかき混ぜて大きな音をたてて遊んでいる。

ジンちゃんとマコトちゃんは電車のレールを長くつなげている。ジンちゃんがトーマスを走らせていると、フミトちゃんがやってきて取り上げてしまった。ジンちゃんは悲しそうな顔をしたが取り返しには行かず、他の電車を走らせていた。

ヒトシちゃんは、保育者にペンギンの写真絵本を読んでもらう。卵の写真を見ると「コケッココー」と言っていた。

トモちゃんは、保育者のひざに座っておままごとをしていたが、カナちゃんがやってきて道具を持っていこうとしたので、あわてて背中に隠していた。カナちゃんはあきらめて、他の遊びに行った。

12 : 00

チャイムが鳴り、少ししてお母さんがお迎えにきた。リンちゃんはお母さんの顔を見て、泣き始めた。

